

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	放射線治療専門医コース（正規課程）（テーマ①）
対象職種・分野	医師・放射線治療
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会に対応した個別化医療に対応した指導的放射線腫瘍医</li> <li>・臨床研究中核病院にて研究を企画・主導できる研究者</li> <li>・大学や研究機関で高精度放射線治療技術を発展・創出できる放射線腫瘍医</li> <li>・がん拠点病院で希少がんや小児・AYA世代がんにも対応できる放射線腫瘍医</li> <li>・核医学を含めたあらゆるモダリティを使いこなせる放射線腫瘍医</li> </ul>
修了要件・履修方法	必修科目を含む医学履修課程の系統講義コース4単位以上、トレーニングコース20単位以上、アドバンスド講義2単位以上、計30単位以上を取得して、論文研究に合格すること。
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;臨床腫瘍学特論Ⅰ、Ⅱ*（4単位）、臓器別臨床腫瘍学特論（4単位）、腫瘍関連学際領域特論（2単位）、論文研究（10単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;次世代腫瘍予防学特論（2単位）、臨床腫瘍研究開発学特論（2単位）、がんプロ合同セミナー#（2単位）、がん医科学セミナー（2単位）ほかコア科目系統講義コース科目・トレーニングコース科目・アドバンスド講義科目、がんプロ科目トレーニングコース科目。*ゲノム医療、希少がん、小児がん、次世代腫瘍予防、腫瘍研究開発に対応、#遺伝子診療部教育セミナー、希少がん・難治がんカンファレンス、がんセミナー等を含む。</p>
がんに関する専門資格との連携	放射線治療専門医（日本医学放射線学会/日本放射線腫瘍学会）の研修施設として認定。がん治療認定医の指導責任者も在籍している。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既設の放射線治療医コースと異なり、研究よりも臨床に促した医師の養成を目指した教育内容。（新規性）</li> <li>・臨床研究を企画・実践できるよう、倫理、統計、放射線生物学、放射線物理学を網羅した教育内容。（新規性）</li> <li>・放射線トレーニングIIIの中で核医学治療のトレーニングも実施する。</li> <li>・当施設は最新の放射線治療機器や核医学治療を国立大学病院としては最も多く実践しており、これらの外照射と内照射の適切な選択方法や使い分けを臨床の現場を中心に習得する。（独創性）</li> </ul>
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学病院放射線治療科および放射線部、東北大学放射線腫瘍学分野の教授以下の教員11名が中心になり指導し、大学間教員交流により相互教育を行う。</li> <li>・連携する7大学と定期的な放射線治療症例検討会を行う。</li> </ul>
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医学放射線学会の放射線治療専門医と日本がん治療認定医を取得して放射線腫瘍学の日本における指導者を目指す。</li> <li>・がん拠点病院や小児がん診療拠点病院における放射線治療専門医を目指す。大学院に入る前に放射線科専門医専攻プログラムに入ってもらい、その中のプログラムの一環として地域の病院でも勤務するようになっており、地域の病院におけるやりがいを実感してもらおう。</li> </ul>